

第115回経営協議会議事録

日 時 令和2年7月27日（月）14時20分～16時50分

場 所 第一会議室

出席者 (学外委員)

大家委員、門脇委員、川上委員、小間委員、鈴木委員、長友委員、端山委員、望月委員、森口委員

(学内委員)

田野学長、小花理事、阿部理事、植村理事、三浦理事、西野研究科長、西岡学域長
(オブザーバー)

小池副学長、村松副学長、山口副学長、坂本副学長、松山監事、名取監事

第113回経営協議会議事録報告承認

第114回臨時経営協議会議事録報告承認

議 題

□審議事項

1. 学長選考会議委員（経営協議会選出）について (資料①)
2. 平成31事業年度に係る業務の実績及び第3期中期目標期間（平成28～31事業年度）に係る業務の実績に関する報告書 (資料②-1～2)
3. 第3期中期目標期間の教育研究の状況にかかる評価（4年目終了時評価）について (資料③-1～3)
4. 令和元事業年度決算について (資料④-1～5)
5. 令和3年度概算要求について (資料⑤-1～4)
6. 令和2年度資金運用計画について (資料⑥-1～2)

□報告事項

1. 新執行部における運営組織と役割について (資料⑦-1～3)
2. 令和元年度業務監査に係る報告について (資料⑧)
3. 令和2年度監査計画について (資料⑨)
4. 危機対策本部からの報告について (資料⑩)

議 題

審議事項1 学長選考会議委員（経営協議会選出）について

田野学長から、学長選考会議委員（経営協議会選出）について、経営協議会学外委員9名から、学長選考会議委員として5名の方を選出する必要がある旨説明があり、当該委員を下記の5名に決定した。

- ・門脇 直人 委員
- ・小間 篤 委員

- ・鈴木 教洋 委員
- ・長友 貴樹 委員
- ・森口 泰孝 委員

審議事項 2 平成 31 事業年度に係る業務の実績及び第 3 期中期目標期間（平成 28～31 事業年度）に係る業務の実績に関する報告書

阿部理事から、平成 31 事業年度に係る業務の実績及び 4 年目終了時に実施する第 3 期中期目標期間（平成 28～31 事業年度）に係る業務の実績に関する報告書について説明があり、これを了承し、今後、役員会で審議の後、文部科学省へ提出することとした。

なお、今後の本報告書の文言の修正等については学長に一任することとした。

審議事項 3 第 3 期中期目標期間の教育研究の状況にかかる評価（4 年目終了時評価）について

阿部理事から、第 3 期中期目標の達成状況報告書、並びに教育及び研究に関する現況調査表について説明があり、これを了承し、今後、役員会で審議の後、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に提出することとした。

なお、今後の本報告書の文言の修正等については学長に一任することとした。

出された主な意見は次のとおり。

(学外委員) 電気通信大学はグローバルな評価が低いのが、知名度を上げ、評価を上げることに
ついて、今後の方針はあるのか。

(学内委員) 海外だけでなく、国内においても知名度は高くない。本学は広報が弱いところがある
ので、今後は広報力を高め、本学の強みを学外に発信していこうと考えている。

(学外委員) 人材の確保は非常に重要な課題であり、国際公募や女性限定公募等について、外国
籍の方や女性の比率の向上に向けた、ユニークな取組を行っているか。

(学内委員) 例えば、女性公募の場合、特定の分野に女性が多く集まるなどの傾向にあわせて、
分野を選んだ公募を行っている。

(学外委員) 研究等を推進する上で倫理教育などはどのようにされているか。また、働き方改革
について、どのような取組をしているのか。

(学内委員) 本学は理系大学だが、共通教育部を設け、文系の科目を重視している。しかし、本
学の教員だけで共通教育部を作れないため、共通教育部にリーダーを配置し、その
リーダーに外部の優れた方を非常勤講師として呼んでもらうよう工夫している。さら
に、技術者倫理については、特別な人を雇用している。また、働き方改革について
は、今回のコロナ禍により急速に進み、学外からアクセス可能な情報システムを導入
し、高い在宅勤務率を維持している。

(学外委員) URA のキャリアパスについての充実をお願いしたい。また、リカレント教育、国
際化、男女共同参画や教養教育についても期待している。

(学内委員) URA のキャリアパスについて、昨年度より新しい評価制度を導入し、年初に掲げ
た目標への達成度等について、半年ごと面談を行い、点数化をすることで、給与や昇
級等を定める仕組みにしている。成果を上げ、能力の高い URA の方には、積極的に
能力が発揮できるような環境で、大学に残って頂くように変えていくところである。

(学外委員) 中期目標・計画とその評価等国からのコントロールが強く、国立大学協会等でまと
まって国に意見が言いづらい風潮に陥ってないか。また、良い評価をもらうためだけ

に邁進し、力が分散して、建設的なことを言おうとする気運が損なわれることも危惧している。

(学内委員) 測りすぎで定量的な評価ばかり行っていくと、本来の目的が達成されず、うまくいかないと感じている。国立大学協会では委員会を作り、測りすぎの解消に向けて動いているところである。また、予算を少しでも減らされないよう良い評価を得るために動く部分もあり、そのバランス感覚が難しく、苦心している。

(学外委員) 国際化について、パッシブな目標が多いが、具体的に世界水準の教育力と研究力を両立させることについて特化した目標はあるのか。

(学内委員) 国際性が弱いということは学生が外向きでないのが起因していると考えている。外国に行くことだけが外向きとは考えていないが、本学の課題であると認識している。

(学外委員) 学生だけでなく、教員も外を向く必要があるのではないかと。教員が外を向くことで、学生も外を向くと思うので、海外の先生方の研究室との交流を増やす取組が出てくるといいのではないかと。

(学内委員) 日本語の共有にとどまらず、特定の教員、学生、留学生だけでなく、大学全体に国際化が広まるようタスクフォースを作り、進めていきたいと考えている。

審議事項 4 令和元事業年度決算について

三浦理事から、令和元事業年度決算の概要（財務諸表、事業報告書及び決算報告書）について説明があり、これを了承した。

審議事項 5 令和3年度概算要求について

三浦理事から、新たに令和3年度概算要求において、共通政策課題（コロナ禍を踏まえた取組）を1件要求したい旨説明があり、これを承認した。

また、令和2年7月13日開催の第257回臨時役員会で承認された概算要求事項について、共通政策課題（基盤的設備整備分）の1番にコロナ禍を踏まえた取組を追加した旨報告があった。

出された主な意見は次のとおり。

(学外委員) コロナ禍において、遠隔授業の環境を整えたことは電通大にとってアセットになると考えている。留学生の多い私立大学や文系大学と交流し、この遠隔授業等のノウハウを共有することで、電通大の良さをアピールすることができる。また、地理的制約が無くなることも合わせて考えると、このアセットをどう使うかが重要となるため、良い体制を作って頂きたい。

(学外委員) 概算要求において、AIがキーワードとなっているが、AIの導入を進める上では、なぜAIでなければいけないのかを説明できると良いのではないかと考える。また、設備の導入はあくまでも手段であり、導入によって得ようとしている効果、つまり、導入する目的を明確にするべきである。

(学内委員) 今回の概算要求にある設備はAIでないと実現できないもの。遠隔での会議や授業を行う際にどういう使い方をすることが課題だと考えている。教育効果をきっちり把握し、コンテンツをセットに考えて、シラバスを作成していきたい。

審議事項 6 令和 2 年度資金運用計画について

三浦理事から、東京多摩地区 5 国立大学法人共同資金運用の詳細が決定したこと及び UEC 基金の資金運用を開始することを含めた令和 2 年度資金運用計画について説明があり、これを了承した。

報告事項 1 新執行部における運営組織と役割について

田野学長から、令和 2 年度新執行部における体制案について報告があった。

報告事項 2 令和元年度業務監査に係る報告について

松山監事から、令和元年度業務監査に係る報告があった。

報告事項 3 令和 2 年度監査計画について

松山監事から、令和 2 年度監査計画について、監査の基本方針を踏まえ、以下の監査事項を重点的に監査する旨報告があった。

- ① 教育力の向上と質の保証に関する体制及び方策
- ② 研究力強化に関わる取組状況
- ③ 外部資金獲得に関わる取組状況
- ④ 新型コロナウイルス感染症への対応

報告事項 4 危機対策本部からの報告について

田野学長から、危機対策本部（新型コロナウイルス感染症対応）で審議した対象事象の経過について報告があった。

[配付資料]

- ①. 学長選考会議委員（経営協議会選出）について
- ②-1. 第 3 期中期目標期間評価（4 年目終了時評価）について
- ②-2. 平成 31 事業年度に係る業務の実績及び第 3 期中期目標期間（平成 28～31 事業年度）に係る業務の実績に関する報告書
- ③-1. 中期目標の達成状況報告書
（別添資料）中期目標の達成状況報告書 別添一覧
- ③-2. 教育に関する現況調査表（情報理工学域・情報理工学研究科）
（別添資料）教育に関する現況調査表 別添一覧
- ③-3. 研究に関する現況調査表（情報理工学域・情報理工学研究科）
（別添資料）研究に関する現況調査表 別添一覧
- ④-1. 国立大学法人の決算について
- ④-2. 財務ハイライト
- ④-3. 令和元事業年度財務諸表（案）
- ④-4. 令和元事業年度事業報告書（案）
- ④-5. 令和元年度決算報告書（案）
- ⑤-1. 令和 3 年度概算要求 機能強化経費「機能強化促進分等」【戦略総表】
- ⑤-2. 令和 3 年度共通政策課題（基盤的設備等整備分）の概要
- ⑤-3. 令和 3 年度共通政策課題（コロナ禍を踏まえた取組）の概要

(別添資料) 電気通信大学における予算(令和2年度)について

- ⑤-4. 施設整備費補助金について
- ⑥-1. 令和2年度資金運用計画の考え方等について
- ⑥-2. 令和2年度資金運用計画
- ⑦-1. 2020年度執行部の体制と役割
- ⑦-2. 国立大学法人電気通信大学役員等一覧(令和2年6月25日現在)
- ⑦-3. 新体制の紹介とミッション
- ⑧. 令和元年度業務監査に係る報告について
- ⑨. 令和2年度監査計画の提出について
- ⑩. 危機対策本部からの報告について

[参考資料]

- ①. 令和2年度経営協議会構成員一覧
- ②. 国立大学法人電気通信大学経営協議会規程